

市従労NEWS

組合設立:1946年 組合本部所在地:〒921-8026 石川県金沢市糸田新町1-30



**フードロス
対策を目的に!!**

SDGs自販機

国連サミットで2015年に採択された"SDGs(持続可能な開発目標)"で、削減すべき取り組みの課題の1つに挙げられているのが『フードロス』であり、まだ食べられるのに捨てられる、売れ残ってしまい廃棄処分される商品を減らすためのフードロス対策を考えた試みとして「SDGs自動販売機」が、今年1月にお隣の富山県(富山市役所内)と3月に滋賀県(守山市エコパーク交流拠点施設)にそれぞれ設置がされています。

いずれも、賞味期限(約2ヶ月後)が迫った『飲み物』を通常定価の半額程度で販売する"フードロス対策自動販売機"であり、コーヒー(紅茶)類やスポーツドリンク類、炭酸飲料類等を中心に『80円』で販売し、商品のラインナップについては「在庫の状況」により変えていく方向で進められています(一般的な清涼飲料水の賞味期限については1年弱であります)。

どちらの県でも、本来ならば廃棄されてきた『飲み物』ではありますが、勿体ないという考え方を大切にしながら取り組んでいくことで、今後のフードロス問題を考えるきっかけになればと、SDGsの推進および啓発に力を注ぐ旨が根底にあり、今後も「SDGs自動販売機」の設置箇所を増やすことも検討中としています。

富山県

他にも、広島駅近くにある某カレー店の店頭で『レトルトカレー』の賞味期限が近い商品を格安(10~30円で販売したことも!!)で販売する自動販売機を設置し、頻繁に変わる"商品ラインナップ"にも人気を集まり、中には「築地のマグロカレー」「毛利元就の戦国カレー」等のユニークなオリジナル商品(毎週:約200食も売れる)も並ぶなど、ネット上でも話題になり、食品ロス削減に繋がる目的だけでなく、予想以上の売れ行きにより捨ててしまう(廃棄処分)考え方よりは、採算度外視ではないにしても、商品(食品)を無駄にすることなく、とにかく安く提供したい気持ちが強く現れた結果ではないかと感じます(※2019年6月頃から販売をしています)。



広島県

宮崎県国富町には「凹み」「傷」などがある飲料(缶・ペットボトル類)等を10~100円『何が出てくるかは楽しみ』で販売し、SDGs自販機を通して地元への地域貢献の活動資金を目的として設置しており、災害時等にも役立つ『地球規模の展開』も視野に入れた試みとして今後も考えています。(※導入後「廃棄処分品」がほぼ=ゼロに!!)

神奈川県

6月には神奈川県(相模原市役所内)にも、フードロス削減とSDGs推進に関する意識啓発等を目的に「フードロス対策自販機」が設置され、誰もが気軽に購入時に売上金の一部が『SDGs推進』に自然と貢献できる取り組みとして、人気商品"コカコーラ缶:80円"などを販売し、賞味期限切れが近くなった飲料を中心に販売を勧めています。

最近では、8月に茨城県(行方市役所内)や、9月には岩手県(花巻市役所内)でも学生がデザインしたラッピングが施された「SDGs自販機」が設置され、通常価格160円のペットボトル製品:アクエリアス・ファンタ等が80円で販売されており、決して賞味期限が近付いていても美味しく飲めることを理解してもらうこと(通常商品と差は無い)や、SDGs自販機を利用することで"フードロス"を減らせる理念を浸透(意識向上)をさせる狙いがあります。-おいしいも。もったいないも。-「も」の形を顔で表現!!

宮崎県



岩手県

重要 Point ~通常より安く買える「余り物には福がある」発想の転換SDGs!!~



SDGs(持続可能な開発目標)は、全地球規模の『社会課題』として、国連が採択した「貧困の解消」「飢餓ゼロ」「気候変動対策」「海洋資源の保全」…(省略)17の目標であります。廃棄物の発生防止については「持続可能な生産消費形態を確保する」に該当します。

『誰一人として取り残さない』を意識した、持続可能な街づくりの実現を目指し、各地で日々活発に進められています。

先進国が便利(裕福)な生活を求めたことにより、生産や廃棄、運搬等に燃料を使い二酸化炭素を多く排出し、食べない(食べ残す)食品を作るために「多くの環境資源」を無駄にし、まだ食べられる食品等が多く捨てられた(廃棄された)状況こそが、飢餓および気候変動等の様々な諸問題を引き起こす大きな要因となっていることは、紛れもなく事実であります。

日本をはじめとする世界各国での『食品ロス削減』に向けた、多くの様々な取り組みが行われていますが、残念ながら劇的な解決策・結果等に結び付くことまでには至っていません。2030年までに「世界の1人あたりの食料廃棄を半減させる」という達成目標が掲げられていますが、日本でも2019年に『食品ロスの削減の推進に関する法律』が施行されており、以下のように明記されています。

- ① 国民がそれぞれの立場において主体的にこの問題に取り組み、社会全体として対応していくよう、食べ物を無駄にしない意識の醸成とその定着を図っていくこと。
- ② まだ食べる事ができる食品については、廃棄することなく、できるだけ食品として活用するようにしていくこと。

その2019年10月には、食品ロス削減の救世主として東京・銀座を皮切りに「カンナチュール(自然派缶詰)」が自動販売機での設置販売を試みるなど、規格外の野菜や製造過程でダメになった魚介類等をペーストにした缶詰製品として"究極の保存性"を持たせ、全国展開して販売するなどの企業努力での"SDGs実現"は、お手本のような取り組みであります。これからも、一人ひとりが「地道な努力」を日々続けていくことが強く求められています。



SDGsとは…『より良い世界を目指そう!!』目標として17個を掲げており、

地球上の誰一人として「不幸」にさせないことを目的としています。



- 目標その①… あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
- 目標その②… 飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
- 目標その③… あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
- 目標その④… 全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
- 目標その⑤… ジェンダー平等を達成し、全ての女性および女児の能力強化を行う
- 目標その⑥… 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
- 目標その⑦… 全ての人々の安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
- 目標その⑧… 包摂的かつ持続可能な経済成長および全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセントワーク)を促進する
- 目標その⑨… 強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの促進を図る
- 目標その⑩… 各国内および各国間の不平等を是正する
- 目標その⑪… 包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市および人間居住を実現する
- 目標その⑫… 持続可能な生産消費形態を確保する
- 目標その⑬… 気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる
- 目標その⑭… 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
- 目標その⑮… 陸域生態系の保護・回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・回復、生物多様性の損失を阻止する
- 目標その⑯… 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
- 目標その⑰… 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化

